



教えて!

市立病院

vol.55

市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

テーマ

女性の排尿の悩みと治療法について

今月のドクター
診療部長兼
泌尿器科長
長岡明 医師



泌尿器科は男性の科とイメージする人が少なくないと思われませんが、男女とも排尿することは同じです。女性の排尿の問題を扱う女性泌尿器科では、頻尿(ちかい)や尿失禁(もれる)、骨盤臓器脱(出にくい)といった中高年女性の排尿に関する悩み・困り事を治療します。これらの排尿の問題のため外出を控えたり、旅行などを諦めたりする女性が実は少なくないのです。皆さんもテレビで女優さんの頻尿のお薬のコマーシャルをご覧になったことがあると思います。コマーシャルを行うということは、それだけ多くの人がお困りだということです。

頻尿(ちかい)の代表的疾患に過活動膀胱があります。過活動膀胱は急に我慢出来ないほどの強い尿意(尿意切迫感といいます)が起り、急にトイレに行きたくなりもらしたり、夜何回もトイレに起きたりする病気です。40歳以上の男女の8人に1人がこの症状をもつと言われ、主にお薬で治療します。

尿失禁(もれる)には、過活動膀胱の他に腹圧性尿失禁があります。腹圧性尿失禁は、咳や運動などでお腹に力が入ったときに尿がもれるもので女性では最も多いものです。軽症ではお薬や体操で治療しますが、重症例には手術も有効です。

骨盤臓器脱(出にくい)は、出産、加齢、肥満などで骨盤を支える筋肉(骨盤底筋)が緩み、膀胱や子宮、直腸が下がり、尿の出にくさ、陰部の違和感を覚える病気です。産婦人科でリングペッサリーを用いた治療を行うこともあります。当科では手術を行うことで治療を行っています。

当院では、これら女性の排尿の悩みに対して専門科を設け、薬物療法を始め、手術療法に至るまで積極的に専門的治療を行っています。排尿に関してお困りの女性は、遠慮なく女性泌尿器科にご相談ください。

詳しくは10月14日(土)の市民公開セミナーでお話します。13ページをご覧ください。